

1	トラック1 オープニング
	※SE…チャイム音 ※SE…足音 ※SE…玄関のドア開く
	(tak_0001) 宅配便員「あまぞぬさんからのお荷物です」
	(tak_0002) 宅配便員「お名前、間違いないですか?」
	(tak_0003) 宅配便員「ありがとうございます」ざいまーす」
	※SE…玄関のドア閉 ※SE…足音 ※SE…ダンボールを置く ※SE…カッターの刃を出す音 ※SE…ダンボールを切る音 ※SE…ダンボールを開ける音
正面	
	(akr_0001) あかり「……こんにちは。はじめまして、おじさん」
	(akr_0002) あかり「わたしの名前は、あかりです……今日からここに住むので、(お辞儀) よろしくお願いします」
	周りをくるくる周りながら
	(akr_0003) あかり「……本物のおじさんだ。うれしい」
正面	
	(akr_0004) あかり「ずっと……おじさんに逢いたかったの。突然だけど、あかりをお嫁さんにしてくれる?」
	(akr_0005) あかり「冗談じゃなくて、本気だよ。あかりの目を見て?」
	マイクに顔を近づける
	(akr_0006) あかり「ほら……もっと、顔を……近づけて……あっ……」
	顔を逸らす
	(akr_0007) あかり「でも……あまり見つめられると恥ずかしい……あれ、どうしてだろ……」
	マイクに顔を向ける
	(akr_0008) あかり「ん……もう一回、あかりを見て? 今度は大丈夫……だと思っ……」

	顔を逸らす
	(akf_0009) あかり「うう、やっぱり恥ずかしい。こんなはずじゃなかったのに…近くだと、おじさんの顔を見られない……」
	(akf_0010) あかり「世の中には、あかりの分からないことがいっぱいあるみたい。だから……おじさんにいろいろ教えてほしい……」
	マイクに顔を向ける
	(akf_0011) あかり「……でもその前に……ぎゅうってしていい？ おじさんが、あかりから離れていけないように……」
	右耳近く
	(akf_0012) あかり「毎日……こうやって……ぎゅうってするの……」
	首筋の匂いを嗅ぐように
	(akf_0013) あかり「ん……くんくん……おじさん、いい匂いがする……お日さまの匂い……」
	(akf_0014) あかり「あかりはどんな匂いがする？」
	正面近く
	(akf_0015) あかり「……今度は顔を近づけても平気……あかりの匂いを移したい……」
	(akf_0016) あかり「そしたらおじさん、あかりだけのものになるかな？あかりだけのおじさんになってくれる？」
	右耳近く
	(akf_0017) あかり「……どうしよう。ぎゅうってしてたら、離れられなくなっちゃった」
	(akf_0018) あかり「おじさんも、あかりのことぎゅうってしてくれる？」
	右耳囁き
	(akf_0019) あかり「んん……もつと……もつと強くがいい……」
	(akf_0020) あかり「……なんだか、おじさんとひとつになったみたい。すごく安心する……」
	※SE…衣擦れ(離れる)

<p>正面・通常</p> <p>(akr_0021) あかり「ん……急に離れてどうしたの、おじさん？あかりが何かした？」</p> <p>(akr_0022) あかり「……こんなの……はんざいだ、って？」</p> <p>正面・近付きながら</p>	<p>(akr_0023) あかり「おじさん、すごくむずかしい顔してる……」</p>	<p>左耳近く</p> <p>(akr_0024) あかり「……「うやってあかりがぎゅううってすると、はんざいっていうのになるの？」」</p>	<p>左耳囁き</p> <p>(akr_0025) あかり「じゃあ、これは？ 手をつなぐのもはんざい？はんざいって、わるいことなの？？」」</p> <p>(akr_0026) あかり「……あかりは子供じゃないよ。りっぱな大人のれでい。身長だって、146センチもある」</p> <p>(akr_0027) あかり「だから、何をしてもへいき。今日からあかりは、おじさんのモノになったの」</p> <p>(akr_0028) あかり「おじさんは、あかりとどんなことしたい？」</p>	<p>正面近く</p> <p>(akr_0029) あかり「……これは夢じゃないよ。もっと、あかりに触れてみて？」</p> <p>(akr_0030) あかり「これもはんざいだって言うなら……あかりもいっしょに、はんざい？ っていうのする」</p>	<p>右耳近く</p> <p>(akr_0031) あかり「おじさんとはんざいする子になる」</p>	<p>右耳囁き</p> <p>(akr_0032) あかり「……んん……あ、おじさん……そんなに強くぎゅうってしたら……すこし苦しい……」</p> <p>(akr_0033) あかり「ん……おじさんのカラダ……おっきいね……ぎゅうってする力も全然違う……」</p>
--	--	---	--	--	--	--

右耳囁き(前ページからの継続)

(akf_0034) あかり「ふふっ、あかりだって負けないよ？
ほら……ぎゅうううううっ。」

(akf_0035) あかり「どう？ おじさん、参った？
早く参ったしないと、もっと強くしちゃう」

(akf_0036) あかり「んっ……んしょ……んんっ……ぎゅうううううううっ。」

(akf_0037) あかり「……おじさん、はんざいってたのしいね。おじさんも、
もっとあかりにはんざいして……？ ねえ、おじさん……」

(akf_0038) あかり「ふふ、今日から楽しい毎日になるからね。
ふたりでいっっぱい、はんざいしようね？」

※トラック2へ